

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議とは

当市民会議は、昭和42年5月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成4年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成13年から平成18年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!～」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山市を中心とした複線電化の促進を目指し、関係機関と連携した強力な推進運動を展開していきます。

年表

昭和42年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和62年	国鉄の民営化に伴い、「JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成4年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成6年	「リニア中央エクスプレス・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成13年	市民対象のリニア試乗会を開始(～平成18年)
平成21年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

会員一覧

団体会員(順不同)

亀山市
亀山市議会
亀山市教育委員会
亀山市農業委員会
亀山市自治会連合会
亀山ライオンズクラブ
亀山ロータリークラブ
亀山商工会議所
(一社)亀山青年会議所
亀山青年会議所シニアクラブ
鈴鹿農業協同組合亀山地区
三重茶農業協同組合
亀山市婦人会連絡協議会
亀山地区労センター
(一社)亀山市観光協会
鈴鹿森林組合
(一社)三重県建設業協会 亀山支部
亀山地区労働者福祉協議会
亀山市地域まちづくり協議会連絡会議

(19団体)

企業会員(五十音順)

株安全	田島シルク株
㈲いとう弁当店	中日運輸株
㈱イチワン 亀山製作所	中部電力株 鈴鹿営業所
NTNアドバンストマテリアルズ株	東海労働金庫 亀山支店
カメヤマ株	東洋電装株 亀山工場
亀山瓦斯有	株桝木屋
亀山急送株	㈱長田建材店
㈱亀山ショッピングセンター	㈲ニシムラ
亀山製絲株	日東电工株 亀山事業所
岸牛乳店	パナック株 亀山工場
北伊勢上野信用金庫 亀山支店	㈱百五銀行 亀山支店
協同油脂株 亀山事業所	㈱プラザチェーン
高圧昭和ポンベ株	古河電気工業株 三重事業所
好福堂	堀田建設株
㈲小菅金物	㈱ホンダオート 三重亀山店
㈱三扇	マルミ化粧品店
㈱ジエイテクト 亀山工場	㈱三重銀行 亀山支店
島内建設株	三星電機商会
シャープ株 亀山事業所	㈱ミヤガク中京(カメヤマドライバーズスクール)
昭和パックス株 亀山工場	㈱宮長
白川建設株	㈲むかい
㈲シラカワ	㈱村山ガス
鈴鹿インター株	㈲保田ガラス店
㈱スチールセンター 亀山事業所	柳河精機株 亀山工場
㈱ストーリア 亀山ストーリアホテル	山川運輸株
㈱セキデン	㈱ヤマシタコーポレーション 三重事業所
㈱大紀アルミニウム工業所 亀山工場	㈱米津グリーンメンテ
㈱第三銀行 亀山支店	リケンテクノス株 三重工場
㈱タクティー 亀山物流センター	

(57社)

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議会報

第6号 [平成30年3月]



会長あいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井 義之

力強く前進しており、「夢」から「現実」への新たなステージの段階に入っています。

当市民会議といたしましても、引き続き、リニア中央新幹線の全線早期開業、「リニア亀山駅」の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線、紀勢本線の利便性向上に向け、関係機関と協力しながら、幅広い活動を精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

夢の超特急リニア 中央新幹線

日本の中を走る新しい新幹線

リニア中央新幹線とは

リニア中央新幹線は、東京から大阪までの約438kmを、わが国独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線です。

世界でも有数の人口集積地域である東京圏・名古屋圏・関西圏の三大都市圏を、超伝導リニアにより新しいルートで結ぶことで、沿線地域のみならず国全体に活力をもたらす国家プロジェクトです。

リニア中央新幹線が開業すれば、東京・名古屋間を40分、東京・大阪間を67分で移動することができ、三大都市圏が約1時間で結ばれます。そのインパクトは、単なる経済波及効果に留まらず、国土の構造を変え、日本の国際競争力を強化し、日本人のライフスタイルを変えるきっかけとなることが期待されています。

整備状況

2027年に先行開業を目指すリニア中央新幹線の東京・名古屋間においては、2014年10月17日にJR東海は国土交通省から工事実施計画の認可を受け、同年12月17日に工事を着工しました。現在は、ターミナル駅となる品川駅・名古屋駅の工事や南アルプスをはじめとする山々を貫くトンネル工事、非常口^{*}の工事が行われています。

また、昨年度、2045年の東京・大阪間全線開業を最大で8年間前倒しする政府の方針が示され、昨年度と今年度を合わせて総額3兆円の財政投融資の活用による財政的支援が行われました。

リニア中央新幹線の東京・名古屋間の工事が着実に進むとともに、名古屋・大阪間の早期の工事着工に向けて大きく動き出しています。

^{*}非常口とは、営業開始後にトンネル内の換気や異常時の避難等に使用する出入口であり、工事時に一部のものは本線部のトンネル掘削のための施工の起点となります。



リニア大解剖

ガイドウェイ

超電導リニアはレールではなく「ガイドウェイ」を走ります。ガイドウェイには、前に進むための「推進コイル」、浮く・案内するための「浮上・案内コイル」があります。

浮上・案内コイル

車両に搭載された超電導磁石が近づくと電磁石になり、車両を押し上げる力が働き、浮上させます。

超電導磁石

車両に搭載されています。常に電磁石の状態で、N極とS極は変わりません。

推進コイル

電流を流すことにより電磁石となり、電流の向きを変えることにより、N極とS極を切り替えます。車両の進行に合わせて、電流の向きを変化させることにより、車両と磁石との間の引き合う力と反発する力を利用して、車両を前進させます。

超電導とは？

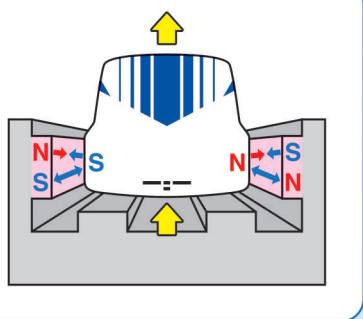
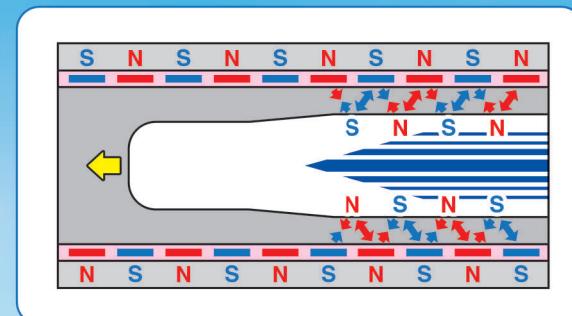
特別な金属を一定の温度まで下げ、電気抵抗がゼロになる状態のことを「超電導」状態といいます。

「超電導」状態となったコイルに一度電流を流すと、その電流はコイルの中を半永久的に流れ続け「超電導磁石」となります。超電導リニアの車体にはこの超電導磁石が組み込まれています。

驚きの技術

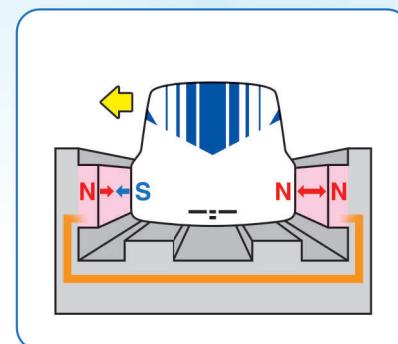
「進む」しくみ

ガイドウェイの『推進コイル』に電流を流すと磁界(N極・S極)が発生し、車両の『超電導磁石』との間に生まれる「引き合う力」と「反発する力」を利用して前進します。



「浮く」しくみ

ガイドウェイの『浮上・案内コイル』の前を、車両の『超電導磁石』が通りすぎると、コイルに電流が流れ電磁石となり、車両の超電導磁石との間に「下から押し上げる力」と「上に引き上げる力」が発生し浮いて走ります。

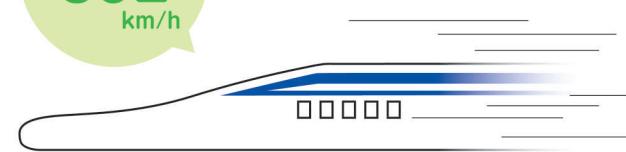


「ガイドウェイにぶつからない」しくみ

車両がガイドウェイの中心からどちらか一方にずれると、ガイドウェイの『浮上・案内コイル』と車両の『超電導磁石』の間に、車両の遠ざかった側に「引き寄せる力」、近づいた側に「押し戻す力」が働いて、車両を常に中心に戻します。

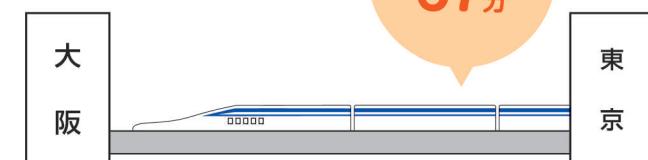
驚きの性能

速度



時間

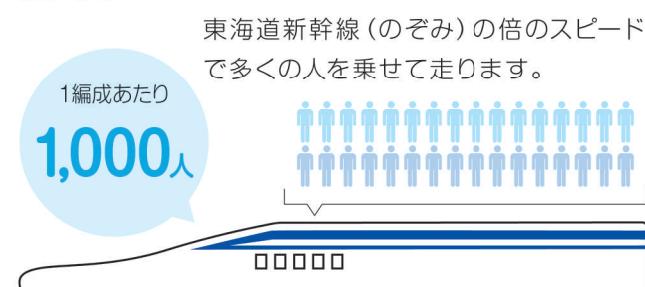
圧倒的なスピード! 大阪まで
約1時間、名古屋までは
わずか40分です。



比べてみよう!

	東海道新幹線	リニア中央新幹線
走る力	モーター	磁石
走る場所	レール	ガイドウェイ
パンタグラフ・架線	ある	なし
運転方法	運転士	指令室で運転を コントロール

定員



東海道新幹線(のぞみ)の倍のスピード
で多くの人を乗せて走ります。

||||| 市民会議平成29年度の活動状況 |||||

総会・講演会

平成29年7月24日(月)、亀山市文化会館において、平成29年度の総会を開催しました。総会では、昨年度の事業報告や平成29年度の事業計画が承認されました。

総会終了後は、飯田市リニア推進部リニア整備課の課長 米山博樹氏を講師としてお招きし、「飯田市のリニア駅周辺整備」と題し、リニア停車駅が設置される先進自治体として、駅周辺整備の取り組み等についてご講演をいただきました。



7/24 総会・講演会

PR活動

○次世代をなう子ども達に興味をもってもらうために

「リニア・鉄道親子学習会」の開催や、『青少年のための科学の祭典』での、工作ブース「木製リニアをつくってみよう」の出展など、親子で一緒に見て触れて、楽しみながら学ぶ機会を設けています。



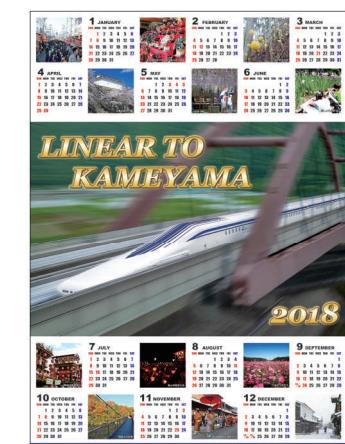
8/26 リニア・鉄道親子学習会(リニア・鉄道館)



11/11 科学の祭典



木製リニア



毎年好評のPRカレンダー、2018年は
亀山市の年中行事や風景をテーマに作成



オリジナル総会記念品

○より多くの方に市民会議を知ってもらうために

イベント等を通じてのPRグッズの配布や、PRカレンダー、会報誌の関連施設への配布・設置等を行っています。本年度は、市役所本庁と関支所へ設置する懸垂幕の作成、会員、各施設向けの、PRのぼり旗を作成しました。

在来線 ~もっと乗って! もっと便利に!~

JR東海 関西本線のIC乗車券サービスについては、これまで名古屋・四日市間に導入されていましたが、このたび平成31年春に南四日市・亀山間においても導入されることになりました。

この関西本線 名古屋・亀山間の全区間において、TOICAなどのIC乗車券が利用できることで、市民はもとより、本市への来訪者の利便性は大きく向上することになります。

これを契機に、鉄道の利用を増やし、当市民会議の目指す関西本線・紀勢本線の複線電化やIC乗車券サービスの利用可能エリアの拡大等のさらなる利便性の向上につなげていきましょう。

当市民会議では、引き続き、「もっと乗って! もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図り、JRの利便性の向上に向けた取り組みを積極的に進めています。

